



令和4年1月28日（金）発行

花高通信

1月号

岩手県立花泉高等学校
岩手県一関市花泉町字花泉字林の沢 17-9
TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448
URL: <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

花高生の意識（生徒のアンケート結果から）

花泉高校の評価

- ◆「先生は指導を工夫し、分かりやすい授業を行っている」と思っている生徒の割合→91%
- ◆「生徒の能力や適性を踏まえた進路指導を行っている」と思っている生徒の割合→97%
- ◆「先生は生徒の話に耳を傾け、相談に丁寧に応じている」と思っている生徒の割合→92%

先生方の授業や指導についてはとても高い評価となっています。この結果は、先生方も嬉しいことでしょう。いずれも90%以上という結果は、先生方にとって今後さらに良い指導を目指すための励みや指標にもなります。

- ◆「生徒会活動・部活動や学校行事が活発に行われている」と思っている生徒の割合→90%

授業以外の諸活動に意欲的に取り組める生徒の多い学校は、雰囲気がとても良くなります。本校の雰囲気が良いのもこの数字から納得できますね。各種行事については、生徒会執行部の皆さんの働きも大きいです。そのことに感謝しながら積極的に協力しようとする全校生徒の姿勢も立派です。これからも皆でより良い花高をつくっていきましょう！

- ◆「本校に入学してよかった」と思っている生徒の割合→85%

昨年度は81%だったので4%もアップしました。十分高い値だと思いますが、本校に入学してよかったと思えない15%の人も気になります。友人関係や成績のことなどで思うようにいかない生徒もいるかと思います。何かあったら、誰でもいいので相談してみてください。なお、保護者では93%の方からお子様を入学させてよかったとの回答をいただきました。

自分自身の評価

- ◆「積極的に授業に取り組んでいる」と答えた生徒の割合→87%
- ◆「毎日家庭学習に取り組んでいる」と答えた生徒の割合→53%



53%以外の47%の生徒さん、家庭学習をもう少し頑張りましょう！学習内容の『理解』は主に授業で、学習内容の『定着・問題を解く力』は家庭学習で成し遂げられます。授業と家庭学習の両立で、成績は向上しますよ。

- ◆「普段から進路指導等将来のことを考えて生活している」と答えた生徒の割合→81%

なるほど、挨拶や言葉遣い、身だしなみの立派な生徒が多いのも頷けます。

- ◆「学校からの保護者宛文書を必ず保護者に届けている」と答えた生徒の割合→86%

この結果は、「うちの子は何も持ってきません」というお母さんからの嘆きを時々耳にしていたので私（副校長）としては意外と高い印象です(^)。goodです☆これからもこの調子で！



始業式の校長講話～多様性を認める～

大晦日、紅白歌合戦を見ましたか？今回の紅白歌合戦は、多様な価値観を認め合おうという思いを込めて『カラフル』というテーマが設定され、それに基づいて番組構成や演出が工夫されていました。一方で、視聴率は34.3%で過去最低でした。この要因は、YouTube や各種 SNS 等のメディアの多様化の影響と考えられます。多様性をテーマにした紅白が、メディアの多様化によって視聴率を下げるという皮肉な結果もありました。



さて、「多様性」とは、性別や年齢、国籍などの属性（性質や特徴のこと）と価値観や生活スタイル（考え方、生き方）に分けて言われることが多いです。最近ではジェンダーやLGBTQなどの性的マイノリティーの話題で取り上げられることも多くなっています。この多様性への理解が不可欠とされる背景には、インターネットの普及や加速するグローバル化があり、私たちの世界がどんどん広がり、多様な価値観に触れる機会も多くなっていることがあります。そのような中、花高は小規模校です。だからこそこの多様性を補償することが大切だと私たちは考えています。したがって、花高ではできるだけ学校の外と関わる機会を設けています。また、生徒数は少ないものの一人ひとり異なる個性をもっています。当然、その個性をお互いに尊重する姿勢は大切で、このような姿勢を身につけていけば、今後社会に出ても様々な場面で役立ち、対応できると思います。

では、多様性を尊重するとはどういうことでしょうか。それは、お互いの違いを認め合うことです。ただし、無条件に受け入れることではありません。「認める」と「受け入れる」とは違うのです。周りと同調せざるを得なかったり、相手の意見を押し付けられて自分の意見を言えなかったりする環境では、多様性を認める社会にはほど遠いと言えます。お互いの違いを認めるためには、まず自分の興味関心の幅を広げる、または、その幅を超える、そして周りを見つめてみるのです。すると、世の中には様々な立場や考え方がある、また、そればかりでなく、一人の人間、一つの物事にもいろいろな面があることに気づくはずで、あることに関して友達が、自分と違う考えを持っていたとしても、全てが違うということではないことにも気づきます。共感できる部分も必ずあるはずで、人や物事を一面的に見て判断するのではなく、私たち一人ひとりが多様性多面性を持つ存在なのだ、という理解が、自由に意見を話せる状況をつくり、ルールを共有してお互いの違いを認め合い、多様性を尊重することを可能にします。多様性を認め合うと我々自身の考えの幅がさらに広がり、人と接する能力や人の考え聴く姿勢が身につけていきます。そうなれば、差別やいじめもどんどん減っていくはずで、そして一人ひとりが前向きに生きていける社会になるのだと思います。人は当たり前のように一人ひとりが違う、またその一人ひとりも多様性多面性を持つ存在なのだ。この認識がとても大事です。この認識から今年スタートしてみませんか。そうするともっとお互いを大事にできますし、あるいは自分自身も大事にできます。

正しい理解があれば自分自身の行動も変わってきます。校訓の『知行合一』にも通じます。

☆☆スポットライト☆☆

今回は、トランポリンで活躍している2年生の 関 悠河 君を紹介します！関君は、第8回東北年齢別トランポリン競技選手権大会Cクラス優勝など、各種大会ですばらしい成績を残しています。この実績が評価され、一関市から表彰されることになりました！

関君は、小学校5年生からトランポリンを始め、学校外のクラブチームに所属し、週4回のペースで練習に励んでいます。出来なかった技が出来るようになった時に大きな喜びとトランポリンの楽しさを感じ、また、トランポリンを通して最後までやり抜く力を伸ばすことができたそうです。心技体を成長させているのですね☆

練習は大変だと思いますが、今後の活躍も期待しています！！

~~ある日のコマ~~

クリスマスを目前にひかえた12月20日（月）の昼休み、職員室にクリスマスプレゼントが届きました。右の写真のケーキと唐揚げとサラダとパスタです。このプレゼントを届けてくれた“サンタクロース”は、1年生の生徒の皆さんです。3・4校時の調理実習で作ったものです。先生方は皆、ニコニコしながら「うまいな～」と言いながら食べていました。特に、若い先生はおかわりしていました。対照的に年配の先生の中には食べ進めていくうちに「ちょっと重いな…」とつぶやいている先生もいました(^_^)とにか、1年生の皆さんに癒されたひとときでした。ありがとうネ🍷

